友好提携10周年記念の訪問団を結成し、グアナファト州を訪問しました

２０１４年に広島県とグアナファト州が友好提携を締結して、今年１０周年を迎えました。

この度、広島県湯﨑知事、広島県議会中本議長、当親善協会菖蒲田会長をはじめとする各訪問団を結成して、１０月１９日から２３日に、メキシコシティ、グアナファト州を訪問しました。

当親善協会からは、役員に呼びかけ同企業を中心とする１７名が広島県訪問団に同行しました。

１０月１９日に出発して、同日メキシコシティに到着し、メキシコ広島県人会との交流会に参加しました。翌２０日午前には、メキシコシティにありますメキシコオリンピック委員会（MOC）を訪問し、２０２１年に開催された東京オリンピック・パラリンピックにおいてメキシコ選手団の広島県事前合宿受け入れの交流を記念して描かれた壁画を見学しました。

午後には、グアナファト州レオン市に空路移動し、グアナファト州政府主催の歓迎レセプションに出席しました。レセプションでは、新体制がスタートしたばかりのリビア・デニス・ガルシア・ムニョス・レド州知事をはじめとする州政府関係者に迎えられました。

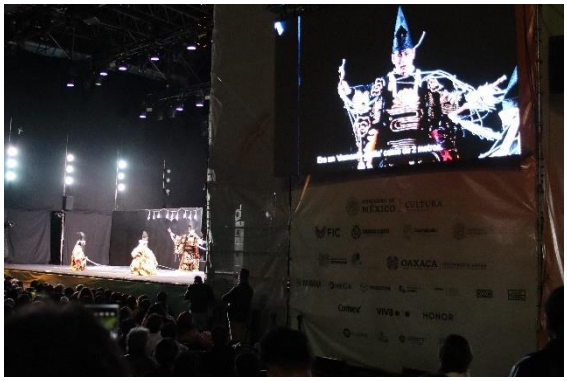
２１日の午前には、レオン市内グアナファト州文化フォーラム内において、マツダ株式会社様をはじめ主に広島からの進出企業で構成するグアナファト広島アミーゴ会のグアナファト州における安定的な成長と企業市民としての社会貢献推進についての宣言書を広島県湯﨑知事、グアナファト州ガルシア知事、グアナファト広島アミーゴ会岩下会長、そして広島グアナファト親善協会菖蒲田会長の４者による署名式が執り行われました。

続いて、今年３月、前州知事の広島訪問の際、広島県庁敷地内に友好提携１０周年を記念して、グアナファト州から広島県に贈られ、設置されたオブジェのお返しとして、この度、広島県からグアナファト州に贈呈されたオブジェが同文化フォーラム内に設置され、多くの参加者が見守る中、除幕式が行われました。

その後、訪問団はグアナファト市に移動し、州議会を訪問しました。州議会の歴史など展示スペースを視察後、議会友好提携の署名が行われました。

その夜には、グアナファト市内を中心に開催中であったセルバンティーノ国際芸術祭に、広島県内の神楽団から選抜された神楽団員による演目“八岐大蛇”、“土蜘蛛”が上演され、鑑賞しました。

上演後は、推定５，０００人の来場者のスタンディングオベーションは、圧巻であり、神楽団員も誇らしく、感激したと思われます。



２２日午前には、メキシコ独立運動の指導者ミゲール・イダルゴ神父が演説を行い、独立が始まり、革命の象徴的な場所とされるドローレス・イダルゴ市を訪問し、街の中心を視察。こちらでも市長をはじめ関係者から歓迎を受けることになりました。

その後、ドローレス・イダルゴ市郊外にあるワイナリーを視察しました。日本国内ではメキシコ産ワインにお目にかかることはほとんどありませんが、メキシコはワインの産地としても知られており、グアナファト州もその一つとされています。

午後からは、世界遺産の都市サン・ミゲル・デ・アジェンデ市に移動し、同市内のワイナリーでグアナファト州政府主催の夕食会が開催されました。

最初に、原住民族の踊りで迎えられ、ワイナリー内の見学後には、女子大生によるエストゥディアンティーナ演奏が始まりと、サン・ミゲル・デ・アジェンデのお祭りに欠かせない“モヒガンガ”という巨大人形の被り物の登場で歓迎されました。

続いて夕食会場へ案内されると、ステージではメキシコの民族舞踊が次から次に披露され、その華やかさに圧倒されました。ステージの最後には、今年の“ひろしまフラワーフェスティバル”において素晴らしい演奏と歌唱で観衆を魅了したマリアッチ“フヴェニル・カンペロス”が登場し、湯﨑知事はじめ、広島の関係者とは再会をする機会となりました。

この夕食会の締めくくりに花火が打ち上げられ、広島県からの訪問団に対するグアナファト州の歓迎ぶりを大いに感じさせる時間となりました。

２３日、グアナファト滞在最終日は、サラマンカ市内にあるマツダメキシコ工場（MMVO）を訪問しました。到着して間もなく、湯﨑知事、中本議長、菖蒲田会長によるマツダメキシコ生産開始10周年車両へのサインが行われ、続いて、工場へと移動、訪問団全員で見学しました。

工場見学後には、会議室において、グアナファト広島アミーゴ会より１０年を振り返り、これまでの成果や課題、現状について報告があり、湯﨑知事、中本議長よりコメントをいただきました。

マツダメキシコ工場を後にし、イラプアト市にあります日本人学校を訪問しました。学校施設や授業風景を視察した後、全児童・生徒が体育館に集まり、湯﨑知事、今井校長の挨拶の後に、校歌斉唱など子供たちの元気な声を聴くことができました。

訪問団としての最後は、グアナファト州経済局クラウディア・クリスティーナ・ビジャセニョール・アギラル長官主催の昼食会がシラオ市で行われ、グアナファト州での４日間を締めくくりました。

１０年に渡って築いてきた広島県とグアナファト州の絆がしっかりと新政府に引き継がれていることを実感したグアナファト訪問となりました。

また来年には、グアナファト州からの訪問団が予定されており、広島において心を込めた受け入れができるよう、準備いたします。